

## 【山形県スポーツコミッションカップ大会ルール】

※ ルールはモルック®に添付されているものや日本モルック協会 HP に記載されている内容に準拠します。(日本モルック協会 HP 参照 <http://molkky.jp/molkky/> )

ただし、一部ローカルルールを設定しています。

1. モルツカーリ (投げる場所を示す仕切り) の両端を 45° の角度に手前側へ曲げて地面に設置します。
2. モルツカーリから 3.5m離れたところにスキttl (数字の書かれた標的) を次の順番に立てます。
  - 1 列目左から ①②
  - 2 列目左から ③⑩④
  - 3 列目左から⑤⑪⑫⑥
  - 4 列目左から ⑦⑨⑧
3. モルツカーリの内側からモルック(棒)を下手投げでスキttlに向けて投げます。その際、モルツカーリに触れたり、踏み越えたり、両端からはみだした場合はファールとなり、その投てきは 0 点になります。(今大会では、大幅な踏み越えや悪質な接触等がない限りは注意に留めます)
  - ・スキttlが 1 本だけ倒れた場合 → スキttlに書かれた数字が得点になります。
  - ・スキttlが複数倒れた場合 → 倒れた本数が得点になります。
  - ・スキttlが倒れなかった場合 → ミスショットで得点は 0 点になります。

※スキttl同士が重なったり、モルックに乗っていたりなど、スキttlの側面が地面に完全に触れていないスキttlは倒れたとはみなさず、得点に数えません。

※同チームが 3 回連続でミスショットおよびファールをすると失格となり、その試合の得点は 0 点になります。その試合は投げるできません。

**その際に、相手チームの得点は 50 点となります。(10 点の加点はなし)**
4. 点数を確認後、倒れたスキttlは、倒れているその場で(スキttlが接地している根元を中心に)起こし、数字の面がモルツカーリに正対するように回します。ファールをした際に倒れたスキttlは、元の位置には戻さず、倒れている場所で起こします。
5. スキttlをすべて起こしたら、次の投てき者が投げます。
6. 投てきを重ね、合計得点がぴったり 50 点になったチームが勝ちです。相手チームはその時点での得点が試合終了時の得点となります。

※試合の途中で 50 点を超えてしまうと、そこまでに獲得した得点は 25 点に戻ります。

(例えば、48 点の時に 3 本倒してしまった場合など)

## ■モルック棒

**モルック棒は、大会側で用意したものを使用します。**

## ■試合終了の合図

試合はセット毎に時間制（20分）を採用します。試合終了5分前に本部で電子ホイッスルを鳴らします。電子ホイッスルが鳴ったら、そのターンで終了です。例えば、Aチームが10ターン目を投てき、ここでホイッスルが鳴った場合、Bチームも10ターン目を投てきし終えた時点で試合終了とし、その時点での総合得点で、そのコート内の順位を決めます。Bチームが10ターン目を終えた時点でホイッスルが鳴った場合は、各チームとも11ターン目を1投ずつ投てきして試合終了とします。

## ■チーム編成

1チームは3～5人で構成します。試合は、3人で行います。

【例】1チーム5人→1試合3人が選手、2人は次試合まで待機。

大会当日都合により出場できない選手がいた場合でも2人が選手として出場可能であれば、オープン参加として競技参加可能とします。ただし、勝ってもトーナメントの上位には進めないものとします。

1チーム1人での参加は認められず失格となります。

## ■選手交代

チーム内での選手と投げる順番は試合（2セット制）ごとに変更できます。

1セット目と2セット目の選手は変更することはできません。

同じ試合の間はチーム内の投げる順番を変更することはできません。

## ■投てき時間

一投ごとの制限時間は特に設けませんが、投てき者が長考している場合は、30秒を目安に、「時間です。投てきしてください。」と促します。ただし、今大会では罰則を設けず、促すだけに留めます。

## ■モルツカーリにまつわる違反

モルックを投げる際、モルツカーリに触れたり越えたりした場合、本来はファールとなり、その得点は0点になります。今大会では、大幅な踏み越えや悪質な接触がない限りは注意に留めます。決勝戦のみファールとして0点とします。

**37点以上のチームがファールを犯した場合、25点に戻ります。（ただし、このファールが1チームで連続した3回目のミスショットまたはファールだった場合は0点となり、失格となります。）**

これらの判断は各審判の裁量に委ねられていますが、モルツカーリに触れないのはエチケットです。できるだけ触れないように気をつけてください。（投てき後、1歩以上後ろに下がるようにしましょう。）

## ■同点の場合

勝敗が決められない状態となった場合は、**①上がり数（50点）、②チームメンバーによる3対3のジャンケン（先に2勝したチームの勝ち）の順で、勝敗を決めます。**（モルックアウトは行いません。）

## ■セルフジャッジについて

今大会は、セルフジャッジ制とします。参加者皆さまの協力をお願いします。単独での判断が難しい場合は、対戦相手と相談のうえ判定を行い、対戦者同士でも折り合いのつかない場合はスタッフ、本部が判定することとします。なお、得点の記録は投げるチームが行い、スキットル起こしは投てき順ではないチームが行うようにお願いします。

## ■スタッフ

スタッフは2コートに1人つきますが、あくまでもサポート役となります。

スキットルの並べ方やルールの確認、スコアの記入方法などのお手伝いをします。